

## IPAアジア・パシフィック・カンファレンス（APC）開催前日の プレカンファレンス・シンポジウムの開催のお知らせ

プレカンファレンス・シンポジウム実行委員会  
委員長 生地 新

本年（2018年）5月3日～5日に、京王プラザホテル（東京）で、IPA（国際精神分析協会）開催のアジア・パシフィック・カンファレンス（APC）が開催されます。このカンファレンスは、IPAがアジア・太平洋地区での精神分析の普及活動の一環として開催するもので、アジアのみならず、欧米の精神分析家も参加する国際的な学術イベントです。IPAの主催する会合が日本で開催されるのは初めてであり、歴史的と言えるイベントです。精神分析は、これまでヨーロッパと南北アメリカ大陸を中心に発展してきましたが、近年、中国をはじめアジアの国々で精神分析の訓練が始められています。日本では、戦前の古沢平作先生の時代から、精神分析や精神分析的サイコセラピーが少しずつ実践されてきており、日本精神分析協会がIPAの基準に沿った精神分析の訓練を行っています。その一方で、日本精神分析学会は2700名を超える会員が集まり、精神分析的サイコセラピーや力動的精神医学、あるいは力動的臨床心理学の実践を中心に学術活動や教育研修を行っています。世界的に見て、日本精神分析学会の存在と活動のあり方はユニークではありますが、「ガラパゴス的」とも言えます。日本精神分析学会運営委員会は、この機会に、本学会を中心とした日本の精神分析的サイコセラピーの実践の歴史と課題について報告するシンポジウムを、APC参加者も参加し、IPAの正会員も討論者としてお招きする形で、開催することを決定しました。現時点の情報は以下の通りです。皆様、アジア・パシフィック・カンファレンスと合わせてふるってご参加下さい。なお、このシンポジウムのみ参加も可能です。

## シンポジウム開催要項

イベント名：プレカンファレンス・シンポジウム

主 催：日本精神分析学会

会 場：早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール  
(東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩9分)

期 日：2018年5月2日(水曜日) 15:00-17:30

受付開始時間 14:30-

会 費：プレカンファレンス・シンポジウムのみ参加の場合 2,000円

事前申込は不要です。当日受付にて会費の支払いをお願いいたします。

APC参加者は無料

APC参加の事前申込が必要です。

当日はAPC参加を証明する書類・領収証等をご持参下さい。

テーマ：「日本の精神分析的な精神療法の実践とトレーニングについて」

司 会：福本 修、生地 新

演者と演題：

北山 修「精神分析に対する日本のアプローチと『抵抗』：歴史的展望」

岡田暁宜「日本精神分析学会における精神分析的な精神療法の訓練—現状と課題—」

高野 晶「週1回の精神分析的な精神療法～自負と慎みと」

平井正三「日本における子どもの精神分析的な心理療法の訓練と実践の展開：  
個人的視点」

討論者 IPAの会員に依頼予定